

熊大病院ニュース

第15号



Kumamoto University Hospital

熊本大学医学部附属病院 広報誌

特集 P1・P2

内視鏡下手術支援ロボット ダヴィンチSi導入

イベント紹介 P3

- *車椅子寄贈式
- *院内の絵を模様替え
- *院内保育所を新設
- *ちっちゃな夏祭り

診療科・部門紹介 P4

- *心臓血管外科
- *救急・総合診療部

新任役職者紹介 P5

谷原病院長 就任挨拶

看護部だより P6

熊大病院に「ダヴィンチSi」 がやってきた!!

総合案内 裏表紙



病院敷地内全面禁煙のお知らせ

皆様のご理解とご協力をお願いします。

熊本大学医学部附属病院は、平成19年12月1日から敷地内全面禁煙を実施しています。喫煙は、肺がんや喉頭がんを始めとする多くのがんや循環器疾患等を誘発しますが、副流煙による受動喫煙によりたばこを吸われない周囲の人々にも健康被害が及びます。

本院は、分煙方式では受動喫煙は避けられないと判断し、病院敷地内全てに亘り、教職員はもとより、患者様やそのご家族及びお見舞いの方など、病院出入りの全ての方々に全面禁煙へのご理解とご協力をお願いしてまいりました。

しかしながら、一部の喫煙者により敷地内禁煙が守られてない状況があり、また、周辺の方々からの喫煙に関する苦情もあることから、平成22年7月1日から、**病院の建物内、敷地内（含む中庭、駐車場）および周辺道路を全面禁煙とし、もし禁煙を守れない場合は、来院者には退去勧告、入院患者さまには退院や転院を勧告することを決定しました。**皆様のご理解とご協力をお願いします。



熊本大学医学部附属病院

【理念】 本院は、患者本位の医療の実践、医学の発展及び医療人の育成に努め、地域の福祉と健康に貢献する。

【基本方針】

- ・患者の希望、期待、要求を尊重する医療の実践
- ・安全安心で質の高い医療サービスの提供
- ・優れた医療人の育成
- ・先進医療の開発と推進

【患者の権利】

- ・良質な医療を受ける権利
- ・十分な説明と情報提供を受ける権利
- ・自分の意思で医療を選ぶ権利
- ・プライバシーや個人情報保護される権利

【患者の責務】

- ・自分の健康状態について正確に伝える
- ・本院の規則を遵守する
- ・迷惑行為を行わない

看護師募集中

最先端の医療に携わってみませんか?

担当:熊大病院 総務・人事ユニット 人事給与担当

☎ 096-373-5913

内視鏡下手術支援ロボット ダヴィンチ Si 導入



【監修】 熊本大学医学部附属病院 泌尿器科 江藤 正俊 教授

熊本病院では、大学病院として求められる、高度の医療技術の提供を可能とし、患者様に、より安全にかつ体に負担が少ない医療が行えると同時に、大学病院としての重要な使命でもある優秀な医療人の育成にも大いに貢献できる手術支援ロボット〔ダヴィンチ〕の最新機種「ダヴィンチSi」を平成25年3月に導入、前立腺癌に対し平成25年6月10日より運用を開始いたしました。

ダヴィンチ Si とは？

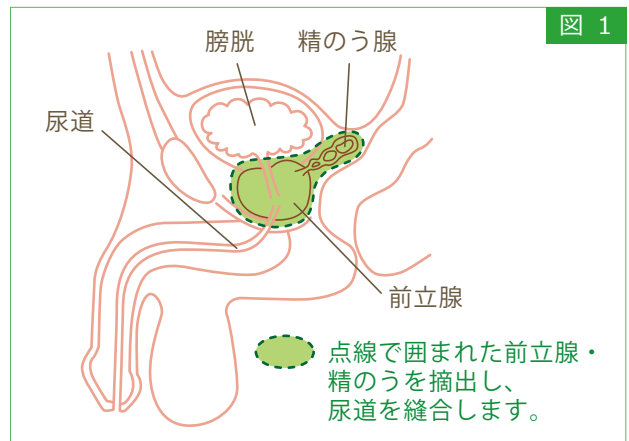
ダヴィンチSiは、従来の開放手術や腹腔鏡下手術などに比べて身体に負担の少ない内視鏡下手術支援ロボットです。このダヴィンチSiを使用した手術の特徴は、医師が開腹手術をおこなった時に比べ30倍の視野拡大能力があり、腹腔鏡鉗子よりも精密な動きが可能となったため、神経の温存や血管の確認・処理の精度が高くなった点や、剥離や縫合といった精緻な手術が可能となった点などが挙げられます。

また、ダヴィンチSiは操作台が2台あることから、将来的には専門分野の異なる医師が協力して手術を執刀することを実現するために活躍することが期待されています。

熊大病院で行われる前立腺全摘除術の各術式について

泌尿器科では従来から行われていた開腹手術に加え、2009年8月から腹腔鏡下前立腺全摘除術（LRP）を本格的に導入し、これまで250例以上の腹腔鏡下手術の実績があります。2013年6月よりダヴィンチSiを使用したロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術（RALP）を開始し、全ての術式での治療が可能となりました。これにより、患者様の病状に合わせて患者様のメリットの大きい術式を選択することができます。

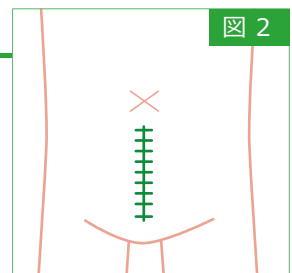
前立腺全摘除術について



前立腺を取り巻く神経や血管を処理（切断あるいは温存）後、図1のように摘出し、その後膀胱と尿道を吻合します。この時、前立腺周囲の静脈叢からの出血が多いため前立腺先端の切除断端に癌が残りやすく、また、吻合部は骨盤の奥深くに位置するため正確な尿道膀胱縫合が困難とされてきました。また、勃起神経を温存するには繊細な剥離操作が要求されます。

開腹手術

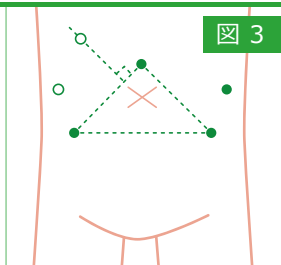
- 病状が進行しているため広範囲のリンパ節郭清が必要な場合や、呼吸器の障害のため腹腔鏡下手術で用いる炭酸ガスが使用できない場合にこの方法が選択されます。



- おへその下から約15cm程縦切開をします。(※図2参照)
- 出血がある程度予想されるため、自己血を予め採取する必要があります。
- 尿道カテーテルの留置期間は1週間以上となります。

■ ロボット支援腹腔鏡下手術

- 開腹手術・緑内障・脳血管障害の既往がある方については適応できない場合があります。その場合は腹腔鏡下手術あるいは開腹手術となります。



- おへそを中心に6か所切開します(5mm~2cm)。(※図3参照)

▶ ロボット支援腹腔鏡下手術の利点

- 傷が小さく、術後の疼痛が軽度です。
- 出血が少なく、自己血を準備する必要がありません。輸血はほとんど必要ありません。
- 尿道カテーテルの留置期間は4~5日で済み、入院期間の短縮が図れます。
- 正確な前立腺先端の切除と膀胱尿道吻合ができるため、癌が断端に残る可能性や術後尿失禁の可能性が低下することが期待できます。
- 神経温存手術において繊細な剥離操作が可能で、より良好な神経機能回復が期待できます。

■ 腹腔鏡下手術

- 前述のロボット支援腹腔鏡下手術が適応できない開腹手術・緑内障・脳血管障害の既往がある方に対して選択されます。
- ロボット支援腹腔鏡下手術に準じた利点が期待できますが、ロボット手術に比べると、手術の難易度が高く、出血量がやや増加する傾向を認めます。

ロボット支援腹腔鏡下手術で健康保険を利用するには？

2012年4月から前立腺がんに対して全摘手術を行う場合に、保険適用となりました。



▶ 高額療養費制度を利用する場合

- 事前に限度額適用認定証の手続きをされますと、窓口における負担限度額(月額)は次のとおりとなります。

70歳未満の方 (3割負担)

8万100円 + (医療費 - 26万7,000円) × 1%

70歳以上の方 (一般所得)

4万4,400円

本院では、患者様またはその御家族からの疾病に関する医学的な質問並びに生活上及び入院上の不安、安全管理に係る相談など様々な相談に対応する窓口として外来棟1階の外来正面玄関横に「患者相談室」を設置しています。相談内容に応じて専門の相談員のほか、医師、看護師等の担当者が対応していますので遠慮なくご利用下さい。

患者相談室 受付時間：月曜～金曜



※本院では、保険適用となっている上記、泌尿器科での「前立腺悪性腫瘍手術」のほかに、今後、消化器外科領域、婦人科領域においてダヴィンチの導入に向け準備・検討をしています。(保険適用外のため自由診療となります)



イベント紹介

一般財団法人 恵和会の助成により開催されている院内のイベント等を紹介します



車椅子寄贈式

一般財団法人恵和会のご厚意により、車イス(10台)の寄贈があったことを受け、7月29日に病院長室において寄贈式が行われました。これまで、外来の現場では老朽化による故障等により車椅子が不足するケースが少なからず発生していましたが、今回の寄贈により車椅子の数が増えて、より利用しやすい環境になりました。



寄贈された車椅子の前にて記念撮影。
後列左から松田事務部長、谷原病院長、廣瀬理事長。



池田 副病院長



院内の絵を模様替え

4月26日に"ホスピタル・アートギャラリー"をリニューアルしました。この企画では、本院が患者さまやご家族に快適な環境を提供することを目的に、熊本大学 教育学部 美術科の学生が描いた絵画を外来から病棟へ向かう人通りの多い中央診療棟の廊下に展示しています。展示作業後は池田副病院長から学生に対して感謝の言葉が述べられ、展示作品の前で記念撮影を行いました。



院内保育所を新設



育児休業取得者・産休取得者の職場復帰支援などを目的として、5月1日に院内保育所を開園しました。入園資格は、病院職員(研修医、レジデントの医師も可)の子供で生後8週間を超える0歳児から2歳児まで。また、一次預かりについては、小学校就学前までの乳幼児を預かり、1年365日の開園を目指します。



ちっちな夏祭り

8月19日、外来診療棟ホールにて「ちっちな夏祭り」が開催されました。谷原病院長の挨拶後、大道芸人『春ちゃん』のショーが始まりました。風船を使ってハートなどの面白い形を作り出すバルーンアートや皿回し、マジックなどの楽しいイベントを目にした子供たちから大きな歓声と拍手が沸き起こりました。

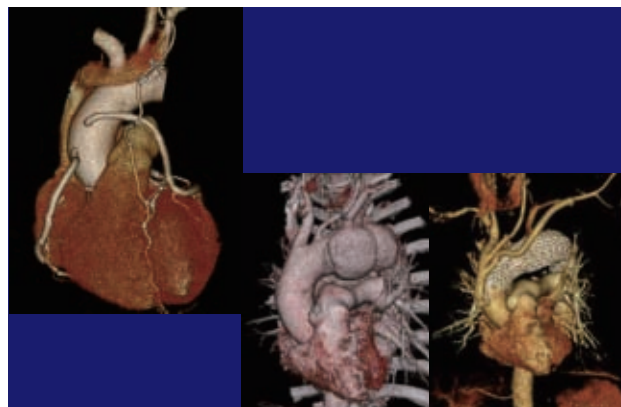


大道芸人
春ちゃん

谷原病院長

ヨーヨーつりやスーパーボールすくい、くじびきなどの夜店や、綿菓子、ポップコーン、ジュースなどを楽しむ子供たちで賑わう夏祭り会場。

心臓血管外科



【写真】冠動脈バイパス術(左上)、胸部大動脈瘤に対するステントグラフト治療(右下)

心臓血管外科は川筋道雄教授のもと、4人の少数精鋭スタッフで、診療・教育・研究に日夜励んでおります。当科で行う手術は、冠動脈バイパス術や弁膜症手術といった心臓手術から、大動脈瘤や大動脈解離に対する人工血

管置換術やステントグラフト内挿術といった大血管手術、足の血流改善を行う動脈バイパス術や下肢静脈瘤手術など多岐にわたります。「心臓の手術は大変そうだな」と思われるかもしれませんが、ご存知の通り天皇陛下も冠動脈バイパス術を受けられましたが、元気に公務に復帰されています。当科でも同様の手術を行っていますが、皆さん術後2～3週間で退院され日常生活に戻られています。術後はもちろん、術前から積極的にリハビリを行い、スムーズに日常生活に戻れるよう取り組んでおります。糖尿病や腎臓病、脳梗塞などの合併症のある患者さんも、各科と協力し対応しておりますので、安心して手術を受けていただけます。

救急・総合診療部

救急・総合診療部は救急外来と総合診療外来を担当しています。救急外来ではスタッフ医師に加えて専門診療科からの応援医師（診療助手）による2交代制勤務で365日24時間体制で救急患者の診療を行っています。救急隊からのホットラインには各勤務帯の当番医師が直接対応し患者受け入れの可否を決定します。対象は大学病院かかりつけの患者さんが主となりますが、軽症から重症まで幅広い傷病に対応して診療を行い、必要に応じて各専門診療科に紹介し専門的な診療をお願いしています。入院治療が必要な重症の患者さんは、集中治療室（ICU）や高度治療室（HCU）に入室し専門的で高度な医療が行われています。また、総合診療外来では総合内科専門医

による外来診療を行っています。対象は特定の専門診療科を選択することが困難な患者さんや県内の医療機関からの紹介患者さんで、診断後に必要に応じて専門診療科に紹介し専門的な診療をお願いしています。



【写真】笠岡俊志教授(前列左から2人目)とスタッフ

◀ 新任役職者紹介



病気やケガで苦しんでいる患者様にとって
心の安らぎと癒しを提供できる病院を目指し
職員一同、更なる努力を続けていきます。

熊本大学医学部附属病院長

谷原 秀信

この度、熊本大学医学部附属病院長に就任致しました。病院長という重責を拝命し、これから病院の管理運営を担うこととなります。病院長として、ここに、ご挨拶を申し上げます。

本院は、細川家熊本藩再春館の時代から連綿と継承されてきた肥後地域の医育機関としての熊本大学医学部の伝統に支えられています。その伝統を踏まえつつ、本院は、「患者本位の医療の実践、医学の発展及び医療人の育成に努め、地域の福祉と健康に貢献する」という理念を謳っております。熊本県唯一の国立大学病院として、本院は、地域医療における「最後の砦」であるだけでなく、多数の関連病院・診療所との緊密な地域医療ネットワークの中核であり、多数の医療人を育成する教育拠点でもあります。最高レベルの医療を提供するために、本院は、医師・看護師・技師などの医療スタッフを育成し、病院の継続的な改善に取り組んでまいりましたし、今後とも一層の尽力を期するところであります。

現在、本院の再開発計画が進行中であり、西病棟、中央診療棟、東病棟が次々に完成し、既に運用されています。そして、来年(2014年)には、いよいよ待望の新外来棟がオープンする予定です(※図1)。さらに本院は、新たな高度医療機能を獲得するために、国内でも有数の臓器移植の拠点であることに加えて、手術支援ロボットの導入、ハイブリッド手術室(※図2)の設置などが計画されており、今年度に運用開始となります。これらの最新の機器と診療棟を最大限活用することで、従来以上に、患者様にとつ

て、快適で安全・安心な環境で最高レベルの医療・看護ケアを受けて頂くことが可能になるものと願っております。



【図1】新外来棟の完成イメージ図(外観)



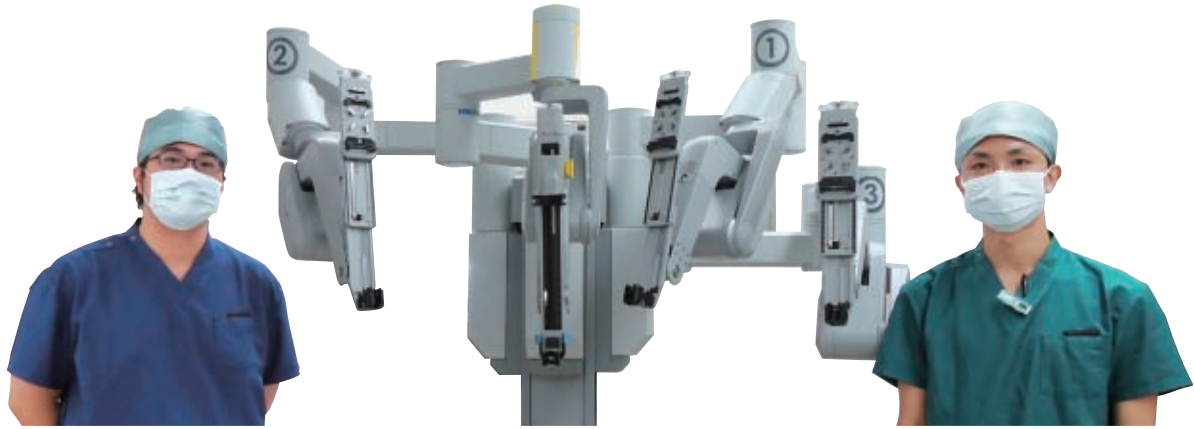
【図2】ハイブリッド手術室

ハイブリッド手術室とは、造影室機能と手術室機能を融合させた施設で、高画質な透視・撮影を行いながら手術が実施できる高度な手術室。今後、循環器、心臓血管外科、整形外科などの領域での低侵襲治療及び経皮的動脈弁置換術(TAVI)などの高度医療での活用が期待されています。

本院は、病気やケガで苦しんでいる患者様にとって、心の安らぎと癒しを提供できる素晴らしい病院環境の構築を目指しております。さらに、高度な医療と看護ケアを提供するために研鑽を積むとともに、患者様に対して、おもいやりと温かみのある気持ちを忘れないように、職員一同、更なる努力を続けていきたいと考えております。今後とも、本院をご支援くださいますようお願い申し上げます。



熊大病院に『ダヴィンチSi』がやってきた!!



【写真】ダヴィンチチーム所属になった手術室看護師2名と手術支援ロボット『ダヴィンチSi』。患者様の負担がより少なく、安全な手術をおこなうことを最優先に、より高度な医療技術の修得に日々取り組んでいます。

腹腔鏡下手術において患者様の負担を少なくすることができる手術支援ロボット『ダヴィンチSi』が熊大病院にやってきました。導入にあたり、まず医師、看護師、臨床工学技士からなる『ダヴィンチ』チームを結成しました。

『ダヴィンチ』は自在で細密な操作が可能であるがゆえに大変特殊な精密機器なので、取り扱うには熟練した技術が必要となります。手術をする医師は当然ですが、機器の管理や看護を行う手術室看護師にも専門的な技術や知識が必要です。本院の手術室では専任の看護師2名がチームに入り、職種間で連携をとりながらトレーニングを行いました。



【写真】ダヴィンチSi導入にあたり結成された『ダヴィンチチーム』チーム一丸となって手術に取り組んでいます。

まず厚生労働省が承認しているトレーニングを受けた後、『ダヴィンチ』手術が多く行われている施設にチーム全員で出向き、症例見学をはじめ手術の安全に関わる講義、看護実践指導を受けました。

なかでも『ダヴィンチ』手術の前立腺全摘除術は、そのメリットを最大限発揮できるようにするため、通常の手術とはやや異なる体位をとっていただきます。そのため自分達自身が何度も手術体位をとって実際指導を受けたやり方をさらに進化させ、安全に手術を終われるように検討を重ねました。そして実際の手術室で『ダヴィンチ』を使用し、チームメンバー全員で意見交換しながら本番さながらのシミュレーションを繰り返し実施しました。

そして今年6月に第1例目の『ダヴィンチ』手術が無事行われました。その後の手術も安全に実施できています。現在、熊大病院では泌尿器科の前立腺全摘除術を実施していますが今後さらに消化器外科、婦人科などでも手術が行われる予定です。これからも患者様にとって安全・安心な手術が行われるように取り組んでいきたいと思ひます。

総合案内

- ① 受付時間 初診 8:30~11:00
再診(予約なし) 8:30(再来受付機 8:20)~11:00
再診(予約あり) 8:30(再来受付機 8:20)~17:15 ※再来診療は原則的に予約制となっています。
- ② 予約受付時間 初診予約受付・再診予約変更受付 8:30~17:15
- ③ 診療時間 開診日の8:30~17:15
- ④ 休診日 土曜、日曜、祝日、振替休日および年末年始(12月29日~1月3日)
- ⑤ 診察日 ◎印(外来診療日参照)の日は初診も再診も行なっております。
- ⑥ 通常の診療以外に次の相談、検診を行なっております。
 - 禁煙外来(呼吸器内科)
 - セカンドオピニオン(全診療科)
 - 乳がん検診(乳腺・内分泌外科)
 - 検査カフェ(中央検査部)
 - 脳ドック(脳神経外科)
 - 検査知外来(中央検査部)
 - 不妊相談(産科)

外来診療日

平成 25年 9月 1日現在

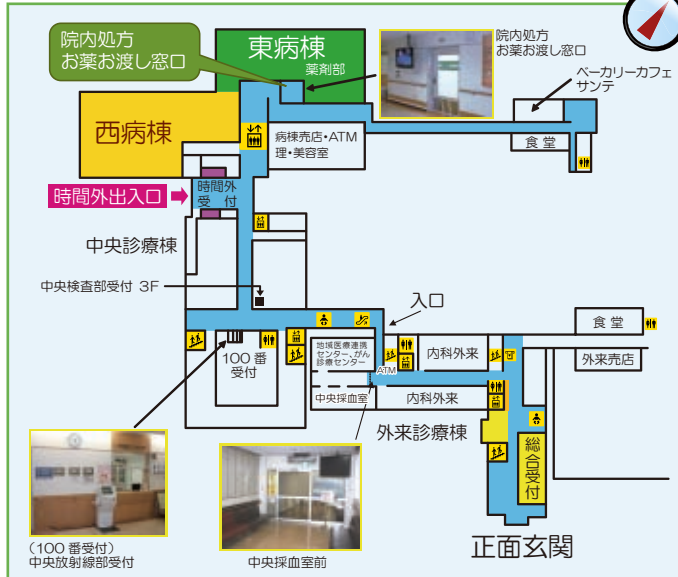
各診療科の◎印は「初診」「再診」を行っています。
 ★印は完全予約制の診療科です。☆印は初診は紹介状がないと受診できない診療科です。
 ◆印は平成25年10月1日より、■印は平成25年11月1日より完全予約制になります。

診療科名	月	火	水	木	金
総合診療 (救急・総合診療部)	◎	◎		◎	
◆呼吸器内科	◎	◎	◎		◎
★消化器内科	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)
血液内科	◎	◎	◎	◎	◎
膠原病内科	◎	◎	◎	◎	◎
◆腎臓内科	◎	◎	◎	◎	◎
◆代謝・内分泌内科	◎	◎	◎	◎	◎
循環器内科	◎	◎	◎	◎	◎
★神経内科	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)
★心臓血管外科		◎(要予約)		◎(要予約)	
■呼吸器外科		◎		◎	◎
■消化器外科	◎	◎	◎	◎	◎
乳腺・内分泌外科	◎	◎	◎	◎	◎
小児外科	◎		◎	◎	◎
移植外科	◎		◎	◎	◎
泌尿器科	再診のみ	◎		◎	◎
★婦人科	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)
★産科	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)
小児科	◎		◎		◎
★発達小児科		◎(要予約)		◎(要予約)	
★整形外科		◎(要予約)		◎(要予約)	◎(要予約)
リハビリテーション部		◎		◎	◎
★皮膚科	◎(要予約)		◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)
★形成・再建科			◎(要予約)	◎(要予約)	
★眼科	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)
★耳鼻咽喉科・頭頸部外科	◎(要予約)		◎(要予約)		◎(要予約)
歯科口腔外科	◎	◎	◎	◎	◎
画像診断・治療科	◎		◎		◎
★放射線治療科	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)
★神経精神科		◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)
☆脳神経外科	◎(要紹介状)		◎(要紹介状)		◎(要紹介状)
★麻酔科	◎(要予約)		◎(要予約)	◎(要予約)	◎(要予約)
★緩和ケア	◎(要予約)		◎(要予約)		◎(要予約)

熊本病院は高度医療を提供する「特定機能病院」として厚生労働省から認証を受けています。地域医療機関との分業を行なうため、原則としてかかりつけ医(他の医療機関)の紹介状が必要です。円滑な診療のために紹介状をご持参ください。紹介状がない場合でも受診できますが、初回および最初診の際に「保険外併用療養費(選定療養)」として3,150円(自費、平成24年9月現在)をご負担いただきます。

※完全予約制について、お尋ねになりたい場合は、下記にご連絡ください。
外来予約センター TEL(096)373-5973

院内案内



病棟案内

【西病棟】	【東病棟】
耳鼻咽喉科・頭頸部外科、血液内科・膠原病内科、乳腺・内分泌外科	12F 院内学級、多目的室、患者図書室
血液内科・膠原病内科	11F 呼吸器内科、呼吸器外科、感染病床
泌尿器科、皮膚科・形成再建科、歯科口腔外科	10F 歯科口腔外科、泌尿器科
腎臓内科、代謝・内分泌内科、画像診断・治療科、放射線治療科	9F 眼科、糖尿病病床
小児科、発達小児科、総合周産期母子医療センター(NICU、GCU)	8F 小児外科、移植外科、緩和ケア病床、小児科、発達小児科、消化器内科
総合周産期母子医療センター(産科、MFICU)	7F 婦人科、乳腺・内分泌外科
ICU、血液浄化療法部	6F 心臓血管外科、HCU、呼吸器外科、救急・総合診療部
脳神経外科、神経内科、SCU	5F 循環器内科、CCU
消化器外科、神経内科	4F 消化器外科
RI	3F 消化器内科
神経精神科	2F 整形外科
栄養相談室、防災センター	1F 薬剤部、売店、理容室、美容室



交通案内

- 『熊本駅』からバスに乗り、『大学病院前』下車
JR熊本駅 所要時間 15分 → 熊本病院
- 『交通センター』からバスに乗り、『大学病院前』下車
交通センター 所要時間 15分 → 熊本病院
- 『阿蘇くまもと空港』からリムジンバスに乗り、『交通センター』下車
 所要時間 40分
- 九州自動車道 熊本インター出口 国道57号線を熊本駅方面(産業道路)へ右折

熊本大学医学部附属病院
 〒860-8556 熊本中央区本荘1丁目1番1号 TEL(096)344-2111(代)
<http://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp> FAX(096)373-5906